

平成16年度 決算

単年度収支が3年ぶりに黒字

合併のスケールメリット生かしさらなる行財政の改革

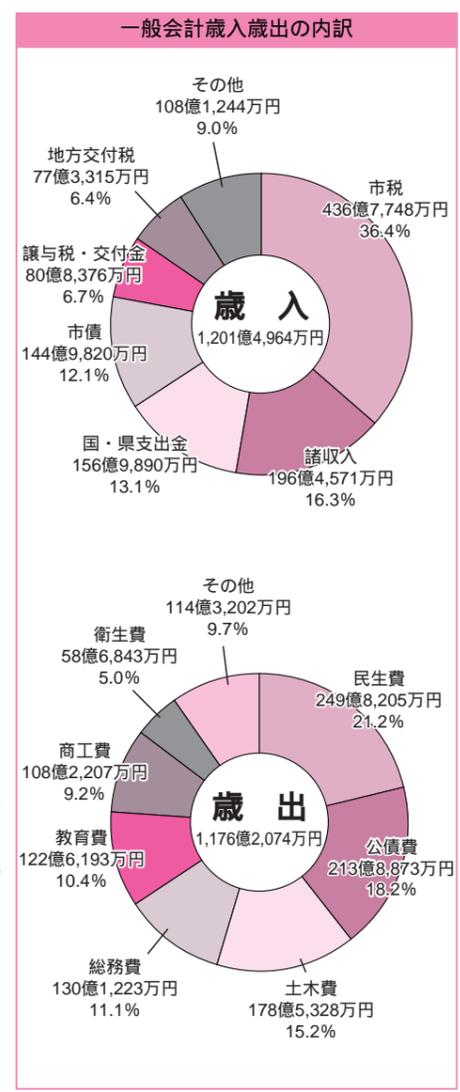


表1 平成16年度各会計の歳入歳出額

一般会計・特別会計		
会計名	歳入	歳出
一般会計	1,201億4,964万円	1,176億2,074万円
特別会計		
国民健康保険	243億3,176万円	236億3,386万円
老人保健	256億58万円	252億5,133万円
競輪	276億5,562万円	271億8,576万円
嶺公園	2億1,668万円	2億1,668万円
農業集落排水事業	11億3,828万円	11億3,685万円
介護保険	137億1,785万円	134億8,578万円
簡易水道事業等	187万円	1万円
小計	926億6,264万円	909億1,027万円
合計	2,128億1,228万円	2,085億3,101万円
企業会計		
会計名	歳入	歳出
水道事業	70億3,332万円	85億4,549万円
下水道事業	96億4,426万円	117億1,087万円
農業共済事業	2億7,335万円	2億5,671万円
合計	169億5,093万円	205億1,307万円

金額は1万円以下を整理しています。
水道事業・下水道事業・農業共済事業の歳出は、現金支出を伴わない減価償却費を含んでいます。

昨年度の各会計決算が監査委員の審査を経て、九月に開かれた市議会定例会で認定されました。その概要をお知らせします。各会計の歳入歳出額は表1、一般会計の歳入歳出内訳は右の円グラフのとおり。なお、本市ホームページにも詳しい資料を掲載していますので、ご覧ください。

昨年度の一般会計決算の歳入歳出総額は、十二月の大胡町・宮城村・粕川村との合併で旧町村から四カ月分の予算を引き継いだため、前年度決算額を大幅に上回りました。歳入は千二百一億四千九百六十四万円。歳出が千七百七十六億二千七十四万円で、歳入歳出差引額は二十五億二千八百九十万円の黒字です。十七年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、二十三億九千五百八十八万円の黒字。前年度の

実質収支額との差額で表す単年度収支は四億六千六百十三万円と、三年ぶりに黒字となりました。なお、市債残高(借入金残高)は約三十九億円の減額に。また、土地開発公社についても、保有



にぎわいある中心市街地に向けた施策を

表2 昨年度に実施した一般会計の主な施策・事業

総務費	
・土地開発公社経営健全化事業(公社保有土地の引き取り)	19億6,168万円
・情報化合併推進事業(市町村合併による電算システムの統合)	10億5,748万円
・環境基本計画の推進	371万円
民生費	
・生活保護費支給事業	46億7,383万円
・知的障害者入所通所施設支援事業	10億3,070万円
・ねりんピックぐんま前橋市実行委員会補助	1,875万円
・第3子以降の保育所(園)保育料無料化	1億7,137万円
・福祉医療費支給	16億5,768万円
衛生費	
衛生関係	
・さわやか健診・各種がん検診など	9億3,025万円
・「健康まえばし21」の推進	373万円
清掃関係	
・有価物集団回収事業(紙製容器包装も回収)	1億1,119万円
・ゴミ収集運搬事業(月火曜の祝日も実施)	6億1,261万円
・ゴミ焼却事業(六供清掃工場高圧復水器更新など)	7億946万円
労働費	
・勤労者福祉交付事業	7億3,222万円
・前橋テルサ整備事業(雇用・能力開発機構持ち分の建物購入費など)	7,262万円
農林水産業費	
・畜産有機質資源確立対策事業(15~16年度、畜産施設整備補助)	2億302万円
・高品質育成牧場閉場関連経費	1億7,595万円
・市単独農業土木(農道、農業用水路などの改修)	2億6,662万円
商工費	
・中心商店街支援(人がにぎわい活気ある街づくりイベント開催補助など)	1,343万円
・中心市街地再生推進事業(中心市街地活性化基本計画の見直しなど)	562万円
・産業振興支援施設整備事業(16~17年度)	6,596万円
・企業誘致など促進	1億3,934万円
・中小企業融資促進	96億8,664万円
土木費	
・道路新設改良(新前橋駅川曲線 期など)	15億548万円
・土地区画整理(駒形第一以下11地区)	62億1,022万円
・街路整備(県庁群大線ほか7路線)	8億9,213万円
・公園緑地整備(文二ふれあい公園などを整備)	7億307万円
・市営住宅整備広瀬第五団地UE棟(15~16年度)	3億8,390万円
消防費	
・消防団用消防ポンプ車購入(2台買い替え)	2,726万円
教育費	
・基礎学力向上サポート事業(小学校の国語授業への臨時教員の配置)	3,063万円
・小学校整備(永明小や新総社小の大規模改造工事など)	6億2,434万円
・中学校整備(六中体育館建設など)	3億5,506万円
・第3子以降の幼稚園保育料軽減	5,275万円
・工科大体育館建設(15~16年度)、クラブ棟建設など	3億6,384万円

各会計の概要

一般会計
市長や助役など、特別職の報酬と手当を減額することもに助役の一人制、特別職使用車の売却などを行いました。また、公民館等使用料の有料化を取りやめ、家庭ゴミ処理費の有料化を見送るなど市民負担を軽減。さらに、中心市街地活性化のため、市営立体駐車場料金の引き下げを行いました。

歳入では、市税や繰入金(基金の取り崩し)などが増加。中でも、諸収入が八十億三千九百七十五万円の増となりました。これは、合併による旧町村の決

算剰余金を引き継いだためです。一方で、地方交付税や地方特例交付金、繰越金などが減となりました。

歳出では、特に公債費(借入金の返済)が大きく増加しました。これは、減税補てん債の借り換えによるものです。総務費や民生費、諸支出金なども大きく増えましたが、衛生費、土木費、教育費などは前年度に大型事業が終了したことなどで減少しました。

なお、十六年度の主要な施策については、表2のとおりです。

国民健康保険特別会計
加入者の皆さんの健康を保持するために、適正な保険給付を行うとともに、人間ドックの補助などの保健事業を推進しました。

老人保健特別会計
高齢社会に対応し、高齢者の健康の保持を図るため、老人医療費の適正な支出に努めました。

競輪特別会計
特別競輪である第十三回寛仁親王牌を開催するなど、事業の活性化に取り組みました。また、グリーンドーム前橋の建設費償還や維持管理について支援しました。

嶺公園特別会計
これまで、公園や墓地の整備を計画的に進めてきましたが、

十六年度で特別会計を廃止。一般会計へ引き継ぎました。

農業集落排水事業特別会計
荒砥北部地区や馬場地区の管路工事を行うとともに、普及率の向上に努めました。

介護保険特別会計
要介護の高齢者が能力に応じた自立生活を営めるよう、サービス向上や事業の円滑な運営に努めました。

簡易水道事業等特別会計
旧宮城村から引き継いだ特別会計です。苗ヶ島町の湯之沢小水道などの維持管理を行いました。

企業会計
水道事業では、第六次拡張事業、既存施設整備事業などの施設改良事業を中心とした施設の整備・拡充を行いました。

下水道事業では、生活環境の改善、河川の水質保全を図るため普及率の向上と施設の整備・拡充、施設の適切な維持管理に努めました。

農業共済事業は、本市と大胡町・宮城村・粕川村の合併に伴い解散した前橋広域市町村圏振興整備組合から引き継ぎました。農業災害補償法に基づき、農家の自主的な相互扶助を基本に災害による農家の損害を補てんし、農業経営の安定と農業生産力の向上を図るため、各種共済事業に取り組みました。